



くすりと健康

一般社団法人
神戸市薬剤師会

口内炎

□内炎は、□の中や舌の粘膜に炎症がおこり症状となつて現れます。痛みがあり、食事や歯磨きの時に痛みが増すことがあります。アフタ性やカタル性、ウイルス性などの種類があります。□内炎の多くはアフタ性です。

□の中にはもともと細菌が多く存在していますが、免疫機能や唾液などにより□の粘膜は雑菌などから守られています。しかし、□の中を誤って噛んでできた傷に細菌が繁殖したり、ストレスなどにより免疫力が低下することなどが原因で、アフタ性□内炎は起こり、中心が丸くて白く周りが赤い潰瘍ができます。通常は1〜2週間で自然に治ります。

カタル性□内炎は、入れ歯や歯の矯正器具などが粘膜に触れて刺激を受けたり、熱い飲食物で□の中をや

けどした場合などや歯周病などで□の中がきれいな衛生状態を保てなくなった時などに発症し、赤く腫れたような状態になります。

ウイルス性□内炎は、ウイルスなどが原因で起こり、多くの場合小さな水疱ができます。市販薬での対応が難しいので、基本的に医療機関を受診して治療をおこないます。

□内炎は、歯磨きやうがいなどで□の中を清潔に保ち、刺激物となる食品やたばこ、アルコールを控えることで、自然に治ることも多いのですが、痛みが強い場合や早く治したい場合には、塗り薬や飲み薬、洗口剤などで対応します。

患部に直接働く塗り薬や貼る薬などに含まれている成分は、炎症をおさえるステロイド剤、アズレンスルホン酸ナトリウムなど、痛みをおさえるジブライン塩酸塩、アミノ安息香酸エチルなど、組織修復成分のアラントインなどが配合されています。塗り薬の場

合は、少し粘り気をつけたり、塗ると固まったりして患部にとどまりやすいように工夫されています。貼る薬の場合は、□内炎に直接貼るため病変部位を覆うことができるので、食事などがしみる時に貼ると痛みを軽減することができます。どちらの薬も、ウイルス性□内炎には使用できません。

飲み薬の治療薬には、粘膜を修復する作用のあるビタミンB₂やB₆、ビタミンCのほかアミノ酸や炎症をおさえる作用のあるトラネキサム酸を含む製品などがあります。

□内炎の予防は、免疫力を低下させないように睡眠、栄養をしっかりと取ったり、歯磨きやうがいなどで□の中の衛生状態をきれいに保つと効果があります。もし、□内炎が頻繁にできたり、同じ場所に繰り返しできるようなら、一度医療機関を受診して他の原因が隠れていないか調べてもらうのもよいでしょう。

(北区) 薬局エビラファーマシー

松本博志